基礎から学ぶ。
ともに考える。
自ら探求する。

ネオ・アカデメイア

テルシテスの学園

哲学者
入不二基義

哲学者
平尾昌宏

人文ライター
斎藤哲也

作曲家
佐原詩音

映画監督・脚本作家
大塚信一

哲学ユーチューバー
ネオ高等遊民

音楽プロデューサー
高久弦太

NEO
AKADEMEIA

21世紀の
哲学する場を
拓く。

2027年 4月開校

NEO
AKADEMEIA

ネオ・アカデメイアとは

哲学を学ぶ。ともに考える。自ら研究する。

ネオ・アカデメイアは、哲学を中心に、人文・芸術・文化などの多様な分野を横断しながら、学び、考え、語り合うための新しいオンラインスクールです。

最前線で活躍する講師による公開講座を受講するだけでなく、学園生として研究会に参加し、自ら問いを立て、考え、発信することができます。

ネオ・アカデメイアの特徴

01



上質な学び

最前線の講師陣による講義・対話。

02



自由な探究

学園生が主体となる研究会と発表。

03



分野横断の交流

哲学・芸術・文学を横断。

04



開かれた学園

初学者から経験者まで歓迎。



知を受け取る場所から、知をともにつくる場所へ。

ネオ・アカデメイアは、第一線で活躍する講師陣と、学ぶ人が同じ問いを囲むオンライン学園です。専門家の思考に直接触れ、対話し、自ら問いを深めていく。そのなかで、哲学は「教わるもの」から、「ともに生み出すもの」へと変わります。

講師と直接対話

研究会で探究

分野を越えて交流

学ぶ人と教える人の垣根を越えて、ともに考える知の共同体へ。

ご挨拶

特別講師・相談役

入不二基義



創立に寄せて

哲学者としての「死に場所」を、私はネオ・アカデメイアに見つけた。私の哲学（入不二哲学）を深く精密に理解してくれている人たちと一緒に、「哲学活動のための組織」を「ゼロから」創る経験は初めてだから、むしろ「誕生の場所」なのかもしれない。

私は大学で長いあいだ教員をしてきたが、教える側としては、一度も「哲学科」に所属したことがない。最後も「心理学科」所属であり、哲学の「同僚」は一人もいなかった。むしろ、そういう状況を自ら好んで、選び取ってきた。

しかし、もはや私に残された時間は多くはない。一人で彷徨するのもこのくらいにして、私のところに生まれ出てきた Any-ness の哲学を、もうしばらく探究すると同時に、さらに展開して伝導してくれる人たちと一緒に、哲学がやりたくなった。やはり、「死に場所」を見つけたと思う。

創立者・運営責任者

高久弦太



開校に向けて

この度、新しい哲学の学園「ネオ・アカデメイア―テルシテスの学園―」を創立いたしました。

アカデメイアは言うまでもなく、古代ギリシャの哲学者プラトンが創立した哲学の学園ですが、テルシテスはホメロスの『イリアス』に登場する名もなき一兵卒です。ネオ・アカデメイアは「当たり前を問い直し、世界や人間についての根本的な問題を、他者とともに考え続ける」哲学の理念を現代という同じ時代を生きる多くの方と共に実践するために生まれました。

ネオ・アカデメイアでは、特別講師として入不二基義先生をお迎えし、第一線で活躍する講師陣による公開講座に加え、学園生自身が研究会を企画し、専門分野の垣根を越えて交流する場を育てます。哲学が生み出される現場に触れられることも、本学園の大きな魅力です。

皆さまと共に、新しい探究と知的交流の文化を育てて行けることを楽しみにしております。

講師紹介

第一線で活躍する講師陣が、
学びと探究をサポートします。



特別講師・相談役

入不二基義

1958 年11 月11 日生。青山学院大学教育人間科学部教授（2027年3月定年退職予定）。主著に、『あるようにあり、なるようになる：運命論の運命』（講談社、2015 年）、『現実性の問題』（筑摩書房、2020 年）、『問いを問う：哲学入門講義』（ちくま新書、2023 年）、『現実性の極北：「現に」は遍在する』（青土社、2025年）『何でもいい何かって何？：Any-ness の哲学』（青土社、2026年）などがある。



公開講座講師
マンツーマン講師

平尾昌宏

哲学者、文筆家　大学、専門学校で哲学、倫理学を教える一方、一般向けの入門書を執筆。『ふだんづかいの生命倫理学』（中公新書ラクレ）、『ふだんづかいの倫理学』、『日本語からの哲学』（ともに晶文社）、『人生はゲームなのだろうか？』（ちくまプリマー新書）、『スピノザ全集』（岩波書店）ほか。



公開講座講師

斎藤哲也

人文ライター　哲学を中心に、人文思想系、社会科学系の取材・構成・執筆を数多く手がける。編著に『哲学史入門Ⅰ～Ⅴ』((NHK出版新書)、『試験に出る哲学』（同前）、『ちくま現代文記述トレーニング』『読解 評論文キーワード』（筑摩書房）など。構成に『中国哲学史』（中島隆博・中公新書）ほか多数。



公開講座講師
マンツーマン講師

大塚信一

1980年、長崎県生まれ。独学で映画制作を学び、長谷川和彦に師事。『連合赤軍』の脚本に参加。ラーメン店で働きながら映画を撮る。『横須賀綺譚』（2020）は重慶青年映画祭で上映。第2作『POCA PON ポカポン』は第38回東京国際映画祭で世界初上映され、北米批評誌『RogerEbert.com』でも紹介された。



公開講座講師

佐原詩音

関西学院大学卒業後、商社勤務等を経て27歳で東京藝術大学音楽学部作曲科に再進学・卒業した作曲家。室内楽・管弦楽などの委嘱作品を手がけるほか、2020年より「コンサートプラン・クセジュ」代表を務める。現在は千葉大学で作曲講師を務める傍ら、理数系塾講師としても活動している。



共同創立者
マンツーマン講師

ネオ高等遊民

日本初の哲学YouTuber。2019年よりタイ在住。哲学修士。
哲学史を中心に古代ギリシアから現代まで分かりやすくておもしろい解説が好評を博す。
著書に『一度読んだら絶対に忘れない哲学の教科書』SBクリエイティブ、『ゆる古代ギリシア哲学入門』中公新書ラクレ。



創立者・運営責任者
マンツーマン講師

高久弦太

一般社団法人 日本人作品と音楽文化の会 Vacances Musicales 代表理事、ネオ・アカデメイア創立者。『山田耕筰ピアノ音楽プロジェクト』（2022年）をはじめ、多彩な音楽プロジェクトのプロデュースから、『ブルグミュラー絵本』などの「音楽絵本シリーズ」「哲学絵本シリーズ」の執筆・出版まで幅広く手掛ける。

NEO
AKADEMEIA

ネオ・アカデメイアの 3つの柱

学ぶ、考える。ともに探究する。
そして、一人ひとりの問いから、
新しい知の地平をひらく。

01 学園生制度
ともに探求する

第一線で活躍する哲学者や研究者と、ともに考え、語り合う。さまざまな問いを専門家と直接議論し、哲学が生まれる現場に参加できること。それが学園生の最大の魅力です。
学園生（月額5,500円）は研究会への参加、研究会アーカイブの視聴、講師との自由対話、研究発表会への応募資格、学園生専用チャットを利用できます。認可制の特別研究学園生（月額11,000円）は、自ら公式研究会を主宰することもできます（講師陣との定期的な検討会有）。

02 公開講座
専門家から学ぶ

多彩な分野の第一線で活躍する専門家による、本格的な講義と解説。単発講座から連続講座まで、幅広いテーマを扱います。
学園生以外の方も参加でき、会員には参加費の割引があります。公開講座・セミナーは別途料金で、アーカイブ販売も行います。

※別途料金／会員割引あり

03 マンツーマン指導
自分の課題に取り組む

個人の関心と目標に応じた、きめ細かな個別指導。哲学、論理的思考、哲学書読解、大学受験現代文、小論文、音楽学、音楽技術、中高生の学習など、幅広いニーズに対応します。

ワンレッスン 6,000円 から
担当講師：平尾昌宏・大塚信一・ネオ高等遊民・高久弦太

会員区分とご利用案内

ネオ・アカデメイアの中心は、**研究会を核とする学園生制度**です。
学び方に応じて、3つの会員区分を設けています。
なお、公開講座・セミナーとそのアーカイブは、**会費とは別に販売します。**

アーカイブ会員

月額 3,300円

研究会アーカイブの
見放題と、公開講座の
会員割引。

※ 学園生ではありません。

学園生

月額 5,500円

研究会への参加、
研究会アーカイブの視聴、
講師との自由対話
「先生方の部屋」、
研究発表会への応募資格、
学園生同士の交流チャットなど。

特別研究学園生

月額 11,000円
（認可制）

学園生の資格に加え、
自ら公式研究会を主宰、
定期的な講師陣への研究報告及び
検討会への参加資格。
随時募集・事前面談あり。

	アーカイブ会員	学園生	特別研究学園生
研究会参加	—	○	○
研究会アーカイブ見放題	○	○	○
先生方の部屋	—	○	○
交流チャット	—	○	○
公開講座割引	○	○	○
研究成果発表会への応募資格	—	—	○
公式研究会の主宰	—	—	○

- 学園生は、専用チャット等を利用して、自主的な読書会や交流会を自由に呼びかけることができます（原則として当事者の責任で運営）。
- 公開講座・マンツーマン指導は、会員でない方も利用できます。

学び、
問い、
語り合う。

NEO
AKADEMEIA

研究会•座談会•公開講座

2027年4月 開校予定｜企画ラインナップ

掲載している企画は現時点での予定です。学園生の関心や議論の展開に応じて
研究会•座談会は今後も随時追加•更新されます。

研究会

哲学入門研究会／主宰：ネオ•アカデメイア講師陣
哲学書を論理的に読み、問いを見つけ、自ら考えを組み立てる力を養います。

哲学史研究会／主宰：ネオ•アカデメイア講師陣
古代から現代まで、哲学者の問いと議論をたどり、思想の対立や継承を考えます。

『エチカ』入門研究会／主宰：平尾昌宏
スピノザ『エチカ』へのさまざまな入門ルートを検討し、新たな読み方を探ります。

『何でもいい何かって何？：Any-nessの哲学』 読書会／主宰：入不二基義
著者とともに精読し、Any-nessの哲学を探究、必要に応じて英訳も検討します。

数学すること、哲学すること／主宰：Idei Tsuyoshi
デカルトからオイラーまでの数学を手がかりに、数学と哲学の思考のあり方を考えます。

哲学論文研究会／主宰：斎藤哲也
日本・中国・西洋など多分野の論文を読み、持ち寄った文献も交えて討議します。

現代の哲学活動を探る研究会（仮）／主宰：平尾昌宏
哲学塾やカフェ、SNS、動画配信など、大学の外にも広がる哲学の実践を調査・研究します。

定期座談会•哲学対話

現代の諸問題をめぐる哲学対話／主宰：ネオ・アカデメイア講師陣
AI、生命倫理、政治、科学技術など、現代の課題を多様な立場から問い直します。

哲学と芸術をつなぐ座談会／主宰：大塚信一・佐原詩音・高久弦太
音楽、映画、美術、文学を入り口に、創造や表現、美と解釈について語り合います。

哲学対話「ネオ・アカデメイア講師陣の部屋」／主宰：ネオ・アカデメイア講師陣
毎月異なる講師を囲み、学園生の問いや関心から自由な対話をひらきます。

公開講座

哲学入門書を精読する 講師：入不二基義
トマス・ネーゲル『哲学ってどんなこと？――とっても短い哲学入門』をテキストに、精密に読み、思考するトレーニングを行います。青山学院大学での講義を再現する特別講座です。

世界再発見講座としての映画 講師：大塚信一
ラスコーの洞窟壁画からハリウッド、そして生成AIへ。映像表現の歴史をたどりながら、映画がいかに現実を捉え、世界の見方を変えてきたのかを探究します。

開校記念プレ・イベント

2027年4月の開校に先駆けて開催

12月12日(土)	『何でもいい何かって何？――Any-ness の哲学』（青土社）合評会 （入不二基義、植村恒一郎、高久弦太）
1月–2月 開催予定	日本語からの哲学　（入不二基義、平尾昌宏）
3月7日(日)	駿台講師座談会　（入不二基義、大島保彦、霜栄、雲幸一郎）
3月13日(土)	入不二基義 青山学院大学 退職記念対談 「哲学の授業は、いかにして成立するか?」（入不二基義、斎藤哲也）

開校記念イベント

4月3日（土）	開校式 特別ゲスト開校記念講演：納富信留「アカデメイアとは何か」 ※開校記念イベントへの現地参加は学園生お申込み先着順とさせて頂きます。

※イベントの詳細はHP、 SNSでご確認ください。 その他のイベントも随時開催予定。

学園概要・運営体制

学園名	ネオ・アカデメイア ― テルシテスの学園 ―
創立者・運営責任者	高久弦太
共同創立者・運営	ネオ高等遊民
特別講師・相談役	入不二基義
事業主体	一般社団法人 日本人作品と音楽文化の会 Vacances Musicales
お問い合わせ	info@neo-akademeia.com
公式ウェブサイト	neo-akademeia.com